

2009-11



92巻11号 平成21年11月

社団法人 電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館内
電話 (03) 3433-6691(代) FAX (03) 3433-6659
E-mail: office@ieice.org 振替口座:00120-0-35300

目次

電子情報通信学会誌

巻頭言

目次前 電子ジャーナル戦略

編集理事 田中良明

特集 感性情報学

911 特集編集にあたって

編集チームリーダー 趙 晋輝

912

1. 感性情報学の方法論

1-1 感性とは何か——感性の由来とそのフレームワーク——
既成のパラダイムではとらえ難い感性を、歴史・哲学などの側面から考察

椎塚久雄 原田 昭

915

1-2 感性の工学的モデル化

人間の様々な活動に見られる感性の個人性と多様性を工学的に表現する枠組み

加藤俊一

917

1-3 感性への数理科学的なアプローチ

対象から得られる物理量と感性情報の関係の学習法、及び、類似画像検索への応用法

栗田多喜夫 小林 匠 大津展之

920

1-4 感性への統計学的なアプローチ

——多数の事例・少数の事例の方法論——

標本サイズが等しいとき、多いとき、少ないときの統計分析

村上秀俊 鎌倉稔成 杉山高一

923

1-5 感性への認知科学的アプローチ

意識と無意識、直観と論理のはざ間での感性の働き

熊田孝恒

926

1-6 感性の脳科学的なアプローチ

遺伝学と脳機能イメージングによる感性情報処理の試み

久野節二

929

2. 感性計測

2-1 生体計測の感性評価への応用

眼球運動による注視点分布を利用した画質評価方式

阿山みよし 斎田真也

932

2-2 感性にかかわる心理量の応答の計測

これまでの心理的応答の計測手法と今後の課題

蒲池みゆき

935

2-3 動作と技能の計測——自動車の運転を例として——

身体の動作や技能に関する個人差の自動数値化の試み

多田昌裕

937

2-4 生活空間の計画と感性の計測

「ひとセンサ」を通じた、生活空間における感性の計測

井上容子

940

3. 感性情報処理

3-1 視覚と映像コンテンツに関する感性情報処理とその事例

多様な映像提示環境の違いによる映像コンテンツの印象変化

佐藤美恵 阿山みよし 春日正男 郭 素梅 小黒久史

943

3-2 音楽に対する感性の情報処理

音楽の構造化：ダイアトニック集合と音楽に対する感性

高岡 明

946

3-3 触覚・力覚に対する感性の情報処理

触覚・力覚提示の技術的難しさとその評価手法

岩田洋夫

その他

平成21年12月号小特集予定目次 934 図書紹介 1000 国内文献目次 1002

図書寄贈一覧 1002 本会だより 1003 編集室 1006

複写される方へ 会告参照 IEICE Global Plaza 会告前 会告 後付

論文誌目次 会告後 広告目次 巻頭言前

会 長 青 山 友 紀
次 期 会 長 津 田 俊 隆
副 会 長 広 崎 膨 太郎

吉 田 進
原 島 博
小 柴 正 則

総 務 理 事 村 田 正 幸
中 沢 正 隆

会 計 理 事 秋 葉 重 幸
桑 原 秀 夫

編 集 理 事 田 中 良 明
三 宅 功

企 画 理 事 大 村 佳 久
大 石 進 一

調 査 理 事 山 田 敬 嗣
安 達 文 幸

編 集 長 酒 井 善 則
企 画 室 長 持 田 侑 宏

規 格 調 査 会 委 員 長 三 木 哲 也
監 事 正 村 達 郎

羽 深 龍 二

基礎・境界

ソサイエティ会長 香 田 徹
次期ソサイエティ会長 松 嶋 敏 泰

通 信

ソサイエティ会長 澤 谷 邦 男
次期ソサイエティ会長 並 木 淳 治

エレクトロニクス

ソサイエティ会長 益 一 哉
次期ソサイエティ会長 板 屋 義 夫

情報・システム

ソサイエティ会長 大 田 友 一
次期ソサイエティ会長 横 矢 直 和

北海道支部長 戸 島 秀 喜

東北支部長 澤 谷 邦 男

東京支部長 篠 原 弘 道

信越支部長 角 山 正 博

東海支部長 平 田 富 夫

北陸支部長 太 田 聡

関西支部長 湊 小 太郎

中国支部長 菅 原 一 孔

四国支部長 岩 下 克

九州支部長 山 崎 正 幸

949

3-4 味覚と嗅覚の感性情報処理と味・匂いを数値化するセンサの開発
味や匂いを測定する新技術

都甲 潔

952

3-5 時間と時間感覚に対する感性の情報処理
——豊かなヒューマンコミュニケーションの実現を目指して——
コミュニケーションにおける時間感覚の役割とその応用例

松山隆司 川嶋宏彰 平山高嗣

955

4. 感性データベース

4-1 画像メディアの感性検索

加藤俊一

視覚に関する感性の工学的モデル化と検索アルゴリズムの実現法

958

4-2 音楽メディアの情報処理と感性的な利用

浜中雅俊

ユーザの意図・感性を反映させた楽曲操作の試み

961

4-3 Web からの音響と映像の感性検索

感性情報を用いたマルチメディア・マルチモーダルな検索技術の考え方と実現法

岡 隆一 矢口勇一 河合天士 大島万里恵

964

4-4 ユーザコンシャスなデザイン情報の感性検索

山中敏正

感性を研ぎ澄ませ！最新のデザイン評価法と感性情報学

967

5. 感性コミュニケーション

5-1 コミュニケーションにおける合意形成と感性

桑子敏雄

紛争を回避するコミュニケーション技術に感性が果たす役割とは？

970

5-2 超臨場感コミュニケーションと感性

榎並和雅 安藤広志

臨場感を感じる要因の分析、超臨場感の実現法と関連技術

973

5-3 ユビキタス情報環境における感性的コミュニケーション

近未来の生活圏：ユビキタス環境との共生はここまで来ている

荻野晃大 上田博唯

976

6. 感性の産業応用

6-1 製品評価と感性

井上勝雄

感性情報処理を応用したデザイン評価手法

979

6-2 インタラクティブシステムと感性——わくわく感の演出——

新しい心理的尺度「わくわく感」の提案

武田博直 大倉典子

982

6-3 ロボットの感性化——人に優しいロボット——

人間の心と通じ合えるロボットの研究開発動向

富山 健 橋本 稔 橋本周司 柴田崇徳

985

6-4 建築と空間設計の感性化

柴田滝也 堤 和敏

感性イメージ技術が支援する住民参加型の建築設計と街作り

988

6-5 製造業の感性化——自動車産業を例に——

柳瀬徹夫

自動車産業における感性工学の応用事例

991

6-6 サービス産業の感性化

金子孝一 伊藤芳規 布川博士 大谷 毅

デジタルレシピを取り入れた外食産業の最新事情

994

6-7 感性と価値創造

小阪裕司 庄司裕子 椎塚久雄

消費者の感性を触発するために、いかに感性情報をデザインするか？

996

6-8 音楽療法と感性

山脇一宏 根津知佳子 椎塚久雄

人間の感性に訴える音楽療法の現状と課題

ニュース解説

998

高出力・広帯域特性を両立するミリ波高速無線伝送／自動車レーダシステム向け CMOS 電力増幅器を開発

会誌編集委員会

編集長 酒井善則
編集理事 田中良明・三宅 功
編集特別幹事 牧野光則・笹山浩二
安藤 淳・荒川賢一

WG・A

主 査 牧野光則
副 主 査 石井孝明・小西啓治
委 員 天野一幸・岩城 謙
大野光平・小松 聡
須賀祐治・高橋康博
坂東幸浩・堀 玄
松尾直司・松崎周一
松永裕介・森田寿哉

WG・B

主 査 笹山浩二
副 主 査 藤野義之・並木 周
委 員 浅井孝浩・大木英司
大橋洋二・岡田康義
岡山知毅・甲藤二郎
亀田洋志・新藤浩之
新保宏之・辻 弘美
成田篤信・野中尚道
長谷川 浩・道方孝志
吉野 仁

WG・C

主 査 安藤 淳
副 主 査 猪川 洋・板谷太郎
委 員 植之原裕行・大野泰夫
影山健生・坂部 至
佐藤里江子・鈴木康之
高須 勲・種村拓夫
中野大樹・平山浩一
藤田輝雄・松本佳宣
三木茂人・山内和久

WG・D

主 査 荒川賢一
副 主 査 横井謙太郎・大西正輝
委 員 麻生英樹・伊藤建一
井上 晃・植野 研
岡崎篤也・加藤晴久
加藤由花・永岡 隆
中藤良久・張山昌論
広津鉄平・福田和真
舟生日出男・古家賢一
堀田悦伸・望月貴裕

ニュース委員会

委 員 長 酒井善則
幹 事 安藤 淳・笹山浩二
委 員 荒井正人・五十嵐 謙
井出 聡・尾上裕子
川村卓也・河島 整
北山賢一・鮫島清豪
鹿田 實・曾我部靖志
高木幸一・西海聡子
長谷川英明・比留間伸行
藤井哲也・藤田 卓
山田辰美

会誌に対する御意見をお寄せ下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/books/kaishiiken.html>